

 社会医療法人 若弘会

ヒトに寄り添う
プロフェッショナルへ。

TRIPLE NURSING

in WAKAKOUKAI

看護職員 募集。

 社会医療法人 若弘会

社会医療法人若弘会は、『急性期医療』『回復期・慢性期医療』『在宅医療』の3つの医療を展開し、『命を支える看護』『生きることを支える看護』『暮らしを支える看護』の3つの看護を実践しています。

このトリプル・ナースングは、患者さんの人生を豊かにするだけではありません。

看護師たちのニーズやライフステージに合わせて働く場所を選択しキャリアアップを目指すことを可能にします。

専門職として成長しながら人としても充実した人生を歩んでいける。

そんな環境が若弘会にはあります。

看護師の人生を豊かにするトリプル・ナースング。温かく恵まれた環境で寄り添う看護と一緒に目指してみませんか。

トリプル・ナーシングで 地域の医療を支える

急性期、回復期・慢性期、在宅の

3つの医療を担えるトリプル・ナーシング。
看護師のニーズやライフステージに合わせて
働く場所を選択しながら
キャリアアップを目指せます。

これから看護師を目指す方にとって、
病院というと急性期病院をイメージされるでしょう。
しかし、急性期は患者さんが病気になるってその後も療養するうちの、
ほんの瞬に過ぎません。
その後の回復期をはじめ、在宅医療や介護の分野も
きわめて重要な看護領域となってきています。
社会医療法人 若弘会は、急性期病院をはじめ、
回復期・慢性期病院、介護老人保健施設、
訪問看護ステーションなど、外来、入院から在宅医療まで、
それぞれの患者さん・利用者さんに
最適なサービスを提供できる体制を整えています。

この3つの医療を担うことができる
トリプル・ナーシングの看護師が
活躍する場面はとて多く、看護師として
やりがいのある環境が数多くあります。
また、看護師として人間的にも
豊かな人生を築く
秘訣ともなっています。

NET WORK 若弘会ネットワーク

急性期医療

若草第一病院

- 地域医療支援病院
- 大阪府がん診療拠点病院
- 救急・急性期病院
- 臨床研修指定病院

回復期・慢性期医療

わかくさ竜間
リハビリテーション病院

- 回復期リハビリテーション病棟
- 療養病棟
- 障害者病棟

3つの医療

TRIPLE
NURSING
in WAKAKOUKAI

在宅医療

● 訪問看護
ステーション

- 居宅介護支援事業所
- 地域包括支援センター

わかこうかい
クリニック

- 肝炎専門医療機関
- 在宅患者訪問診療

介護老人保健施設
竜間之郷

- 介護老人保健施設
- 短期入所療養介護
- 通所リハビリテーション

Philosophy

社会医療法人若弘会 理念

最高の医療を提供し、地域社会の
健康と健やかな人生に貢献します

【若弘会人の約束】

- 一、患者さんに適切な言葉遣い・心遣い・挨拶します。
- 二、病気や怪我で困っている患者さんを援助するため、総合的に診療します。
- 三、来院された患者さん、家族さんの不安な気持ちを受け止め、
多職種が協力して、即時対応します。
- 四、病院を優先せず、患者さんを家族と思い、患者さんを優先して行動します。
- 五、いつでも行動できるよう努め、上司・同僚・部下に報告・連絡・相談します。
- 六、病院を代表していることを心して行動します。病院はサービス業です。

Mission

使命

～私たちのめざす医療～

私たちは限りある医療資源を有効に使うため、最高の医療をより早く、より効率よく、適正に提供し、病状の程度と治療の費用を考慮に入れた医療を行わなければなりません。私たちは、高度な医療を提供する事を目指しています。しかし、高度な医療のみのみが最高の医療とは考えておりません。生命力を無視した医療は患者さんに無用の苦痛を与えるばかりか、患者さんの身体も心も傷つけかねません。したがって、同じ治療結果ならば、より侵襲の少ない方法で、よりQOL(生活の質)の高い方法を選択すべきではないでしょうか。患者さんに健やかに生きる喜びを感じて頂く。これが私たちの心からの願いです。



急性期医療

若草第一病院

Wakakusa Daiichi Hospital

若草第一病院



急性期医療を担う

命を支える看護師として

活躍できる病院です



所在地 大阪府東大阪市若草町1-6

診療科目 内科・循環器・呼吸器内科・消化器内科/内視鏡センター・小児科・外科・整形外科・人工関節センター・スポーツ整形外科・泌尿器科・眼科・耳鼻咽喉科・婦人科・形成外科・脳神経外科/脳卒中センター・放射線科・麻酔科・救急科/救急センター・リハビリテーション科・病理診断科・血液内科

許可病床数 230床(一般220床、ICU 6床、HCU4床)

常勤職員数 432人

常勤看護職数 193人

看護形態 7:1看護

Team
Medical
チーム
医療

- 感染対策チーム
- がんサポートチーム
- 呼吸ケアチーム
- 栄養サポートチーム
- 褥瘡対策チーム
- 認知症ケアチーム



近鉄奈良線「瓢箪山」駅下車 徒歩7分

近鉄バス 20系統「山本駅前行」または「東花園駅前行」
「御幸町」バス停下車 徒歩1分

POINT

01

地域医療支援病院として頼りにされる病院

24時間365日、迅速な救急受入と緊密な連携で地域の健康を守り使命を果たしています。

POINT

02

がん診療拠点病院として質の高いがん診療を実践

最新の知識と技術、豊富な経験に裏打ちされた専門職の医療チームと充実した設備・機器を備え、地域におけるがん診療の充実に努めています。

看護部方針

1. 患者さんの尊厳をまもり温かな配慮をもって対応します
2. 看護実践能力を上げ安全で質の高い看護を提供します
3. チーム医療を推進し、良質な看護ケアを提供します



看護部の目標

ありのままを受け止め
心に寄り添う看護ができる



Work Environment

看護師の職場環境について

「明るく、楽しく働ける環境」

元気な声、明るい笑顔。活気あふれる病棟の自慢は、看護師間のチームワークです。子育て中のママさんナースが多いこともあって、それぞれが協力し合い、助け合いながら、心のこもった看護を実践しています。

「心が響きあう看護を実践」

患者さんとの対話や心のふれあいを大切に丁寧な看護を実践することで、患者さんの回復をともに喜び、看護師としてのやりがいを実感。患者さんとの信頼を築き、看護師ならではの貴重な経験を積み重ねます。

Message

メッセージ

存分に力を発揮できる環境こそが、あたたかい看護の源

若草第一病院 副院長 渋谷 智美



急性期病院である当院では、高いレベルで医師の診療補助を行うとともに、患者さん、ご家族が安心して入院から退院後の生活を送っていただくための支援を重視しています。看護師が専門職として成長しながら、人としても充実した人生を歩める環境づくりに力を入れていることが特徴です。それは教育などの制度面だけでなく、1人ひとりの存在を認め、仲間同士で支え合う関係性なども含みます。人がつながり、育み合い、新しい力を生みだしていく...そのような環境こそが、寄り添った看護を実現できるのだと信じています。看護の仕事に誇りをもち、看護を実践していくことの素晴らしさを知る、看護部は全力で応援します。



回復期・慢性期医療

わかくさ竜間リハビリテーション病院

Wakakusa-Tatsuma Rehabilitation Hospital

わかくさ竜間
リハビリテーション
病院



回復期・慢性期の
患者さんに寄り添い
活躍できる病院です



所在地 大阪府大東市大字龍間
1580

診療科目 内科、
リハビリテーション科、
歯科、皮膚科、
放射線科

許可病床数 500床

常勤職員数 442人

常勤看護職数 135人

チーム医療 Team Medical

- 感染対策チーム
- 褥瘡対策チーム
- 栄養サポートチーム



学研都市線「JR住道」駅、近鉄奈良線「生駒」駅から
専用バス(無料)で15分～20分

Work Environment

看護師の職場環境について

「安心して働き続けられる職場」

笑顔大切にしたい明るい職場が看護部のモットー！年齢や経験を超えて、お互いが持てる力を発揮しながら、前向きな思いで看護にあたっています。休憩時間や休日などプライベートでも仲良く過ごしています。

「心のふれあいを大切に育む毎日」

リハビリや療養生活を送る患者さんに向き合い日常生活全般を支えることで、より深い心のつながりが築けます。患者さん、ご家族と積極的に関わりながら看護師の貴重な経験を重ね、人として成長していけます。

集中的なリハビリテーション
をチームで支援します。

POINT

01

急性期治療後早期にリハビリテーションを集中的に行う回復期リハビリテーション病棟、急性期に引き続き治療やリハビリを行う療養病棟を有し、患者さんが社会復帰・在宅復帰されることを支援する専門病院です。

口から食べるための取り組み
をチームで行っています。

POINT

02

健康な人であれば当たり前の「口から食べる」ことですが、疾患や障害により食べることが難しい患者さんが多いです。看護部職員である歯科衛生士と歯科医師、言語聴覚士等と協力して口腔内評価から口腔機能を高める訓練など口から食べることを諦めずに少しでも経口摂取が続けられるような取り組みを行っています。

看護部の目標

ありのままを受け止め
心に寄り添う看護ができる



看護部方針

1. 患者さんの尊厳と権利をまもり
その人らしさを重視した看護を提供します
2. 医療チームの一員としての役割を果たし、
患者さんの生活の質（QOL）を高めます
3. 専門職業人として自己研鑽し、心豊かな人間性と
高い倫理観を持つ自律した職員を育成します

メッセージ Message

「看護の力」を確信する
看護部を目指して



わかくさ竜間リハビリテーション病院
副院長 西島 りつよ

回復期と慢性期の病床からなる当院では、在宅復帰、社会復帰を目指す患者さんに多職種と連携してリハビリテーションを行い、生活のあらゆる場面で身体機能改善の機会が持てる看護を提供しています。また、長期の治療を要する患者さんや、自身の思いを表現することができない患者さんにも、その方の変化を引き出す看護の提供を図ります。看護部では、たとえ患者さんに重度の意識障害があっても、残存機能を決めつけずに生活行動再獲得に向けて関わることで、患者さんのわずかな変化に気づき、必要な介入ができる看護師を育てます。看護部は、患者さんご家族がQOLの向上を実感し、看護師が「看護の力」を確信する機会が増えることを目指しています。

新しい考え方の教育病棟 Education Ward

「エフ・ウォード」
F-ward

Future(未来)
Find(発見する)
Fortitude(不屈の精神)
Fabricate(組み立てる、作り上げる)

Fantastic(素敵な)
Fabulous(素晴らしい)
Friendship(友情)

回復期と療養病棟の教育病棟でじっくりと看護をマスター。
基本的な技術と看護展開を身につけてから、適正に応じた病棟で働くことができます。教育パスに沿って、ひとりひとりの職員に応じた教育を行います。

回復期では24時間を通した患者さんの状態を理解し、看護に活かすため3ヶ月目にはシャドー夜勤に入ります。新人教育のスタートは、教育病棟から。約2ヶ月間のプログラムに沿って教育責任者が基本的技術を指導します。不安なく病棟での第1歩を踏み出せます。

1週目

2名の患者さんを受け持ち、1日の流れを理解する

2週目

5名の患者さんを受け持ち、必要な看護ケアから看護記録までの習得

3週目

10名の患者さんを受け持ち、1人で行動することで優先順位を学ぶ

4週目

15名の患者さんを受け持ち、自分で「できること」「できないこと」を確認し、自主性や自己学習力を育む。



在宅医療

訪問看護
ステーション
Home Nursing Station訪問看護
ステーション〒574-0074
大阪府大東市谷川2-7-10

在宅医療

介護老人保健施設 竜間之郷

Geriatric Health Services Facility Tatsumanosato

介護老人保健施設
竜間之郷〒574-0012
大阪府大東市大字龍間
1595-7学研都市線「JR住道」駅、近鉄奈良線「生駒」駅から
専用バス(無料)で15分～20分

POINT

01

病院から保健・医療・福祉を
切れ目なくつなげます。医療技術の高い利用者さんにも技術力で支
援しています。

POINT

02

その人らしく生きるを
支援しています。24時間365日対応、自宅で最後までその人ら
しくあり続けられるように。

POINT

01

利用者さんの自立と
在宅復帰を支援多職種が協働し、医療度の高い利用者さんに
チームで支援しています。

POINT

02

高い倫理観を持ったケアの提供

認知症高齢者の尊厳を守り、リハビリや療
養生活を支えています。また、穏やかな最期
を迎えていただく看取りの看護を実践。

「日常生活の中で過ごす」を支える

看護を実践できる訪問看護ステーションです

看護部の目標

ありのままを受け止め
心に寄り添う
看護ができる

看護部方針

1. 住み慣れた地域で安心して療養生活が送れるよう支援します
2. 多様な健康・生活問題をもつ利用者さんに専門的なケアやサービスを提供します
3. 関連機関と共に学び合い、サービスの質の向上を目指します
4. 質の高いチームケアを推進します

Work Environment

看護師の職場環境について

「やりがいを持って、成長を感じられる職場」

訪問看護の関りを通して、利用者さんやご家族からの言葉で自らの成長や喜びを感じ日々の変
化や目標を持ちながら看護力を高めていくことができます。「頼れる仲間と心を育み、
温かい看護を培える環境」訪問看護は一人訪問が多いです。先輩からのアドバイスや質問しやすいよう話しやすい雰囲気
を大切にしています。ともに笑い悩みながら年齢は関係なくお互いが頼りあえる職場です。

メッセージ Message

訪問看護の良さを感じ、
やりがいを実感

在宅医療 看護部長 米増 雪子

病気や障害のある方が、住み慣れた自宅・地域での療養生活を送れるように新生児から高
齢者を対象に保健・医療・福祉のあらゆる面から生活の質を高めるように関わっています。
特に若弘会の訪問看護は、緊急時に備えた24時間体制で主治医と緊密な連携をはかり、
また、多職種の方々とも協働しながら心温まる看護の提供を目指しています。2019年から
は、新人看護師の採用・育成にも注力し、教育体制を整備してまいりました。利用者さんの
『その人らしさ』を仲間と共に支えながら、在宅看護の良さを感じ、やりがいをみつける事が
できると思います。



看護部の目標

ありのままを受け止め
心に寄り添う
看護ができる

看護部方針

1. ひとりひとりの尊厳をまもり「自分らしく生きる」を支援します
2. 思いやりの心と笑顔で健康管理と医療ケア、
日常生活への支援を行います
3. 在宅復帰・在宅生活支援に向けたチームケアを推進します

Work Environment

看護師の職場環境について

「イキイキと働き続けられる職場」

一日が元氣な挨拶と笑顔で始まる活気ある職場です。残業はなく仕事と家
庭の両立が可能。年齢や経験を超えて、協力し助け合いながら看護を提供
しています。

「自立した社会生活への支援」

家庭的な雰囲気の中で看護、介護、機能訓練等が利用者さんの能力に応じ
て安全に配慮しながらサービスの提供を行っています。

メッセージ Message

多職種が連携し、利用者さんの想いに応える

介護老人保健施設 竜間之郷 部長 山脇 あやめ

老人保健施設の役割は、利用者さんの在宅復帰と在宅療養のための支援です。看護師は、「これからの人生
をどう生きたいのか」という利用者さんの希望を実現できるよう、包括的なケアに努めています。また、多職種
は対等な立場でディスカッションし最適なケアプランを立て、それぞれの専門性を発揮しながら実践してい
ます。利用者さんと向き合う姿勢を大切に、あたたかい気持ちになる看護の提供に努めています。新卒の方
もキャリアを積んだ方にもやりがいのある職場です。



新人教育制度



新人から看護のスペシャリストへ、
学びの日々が、いつしか実りに育つ

臨床実践能力習得段階モデル

5段階のラダーを設定。それぞれレベルに応じた研修や教育を実施していきます。
新人の頃から、目標を持ち続けることの大切さを組み入れた教育制度。キャリアアップへの意欲を高いレベルでバックアップします。

看護管理III・看護管理II / ジェネラリスト / 専門看護師 / 認定看護師 / 特定看護師 / 臨床指導者 / 専門療法士

LEVEL5 ★★★★★	より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択しQOLを高めるための看護を実践する
LEVEL4 ★★★★★	幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する
LEVEL3 ★★★	ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する
LEVEL2 ★★	標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する
LEVEL1 ★ aim ナース	基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する

〈新人看護職員研修制度〉

「aim」とは“目指して進む”という意味合いで、達成を意図することや努力を傾けるということも含まれています。新人看護職員の皆さんが社会人基礎力と看護の知識・技術を身に付け、生涯学習を行いながら創造的に看護を探究できるよう支援しています。



1年間の目標

- 基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する

看護実践能力

- 助言を得てケアの受け手や状況(場)のニーズをとらえる
- 助言を得ながら、安全な看護を実践する
- 関係者と情報共有ができるケアの受け手や周囲の人々の意向を知る

組織的役割遂行能力

- 組織人として自覚をもち責任ある行動がとれる

自己教育・研究能力

- 助言を受けながら自己の教育的課題をみつづけることができる

若草第一病院スケジュール例 Schedule

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
● フィジカルアセスメント ● 看護技術(注射の実践等) ● 感染管理 ● 看護倫理 ● 看護教育システムとサポート体制/PNSマインド	● 薬剤の管理 ● 高齢者の理解と認知症 ● 夜勤の心構えと準備(指導夜勤スタート)	● ディベートの進め方 ● BLS+AED研修 ● シャドー夜勤スタート	● メンバーシップ	● 時間切迫・多重課題	● 急変時の対応 ● レジリエンス研修	● ディベート発表会	● 看護研究発表会 ● ナラティブのまとめ方 ● 強み研修	● グリーフケア	● 高齢者の理解と看護	● チーム医療の理解 ● ケア倫理	● ナラティブ発表会 ● 実地指導者の役割 ● 修了式
● 医療安全研修(医療機器の取扱い)											

※訪問看護職員は、若草第一病院の集合研修に一部参加します。

Carrier Ladder

3つの能力を柱としたキャリアラダー

役割遂行能力

対人関係
問題解決能力
管理能力
リーダーシップ

看護実践能力

4つの力
意思決定を支える力
ニーズをとらえる力
協働する力
ケアする力

教育研究能力

自己啓発
教育指導研究



資格取得支援制度

社会医療法人 若弘会には認定看護師等の資格取得をサポートする制度があり、受講料等を支援します。

受講期間中は万全のサポートのもと資格を取得することができます。
ステップアップを目指す方を社は応援しています。



●認定看護師

クリティカルケア (救急看護1、集中ケア1)	2名	慢性呼吸器疾患看護	1名
感染管理	4名	皮膚・排泄ケア	1名
緩和ケア (緩和ケア3、がん性疼痛看護1)	4名		
NST専門療法士			4名

若草第一病院は、専門療法士認定教育施設のため、自己施設での研修が可能です。NST専門療法士取得後もさらにスキルアップできる環境があります。

看護教育に携わる実習指導者として必要な知識・技術・態度を修得できる実習指導者講習会への支援を行っています。

	全体	若草第一病院	わかさ竜間リハビリテーション病院	在宅医療
実習指導者講習会修了者	40	16	7	17

Interview 01

T・K
2年目看護師
所属…若草第一病院



看護もアルティメットも 全力で臨みたい

現在、ICUで重篤な患者さんの全身状態の観察や管理をしています。入職時、気持ちが折れそうになったことがありましたが、先輩に声をかけてもらったり、話を聞いてもらえたので救われました。やりがいは、自身が行った看護で患者さんが喜んで下さったり、ご家族から感謝の言葉をいただいたときに感じます。僕は救急看護のスキルを身に付け、患者さんを救える看護師になりたいです。プライベートではアルティメットをしています。高校の時に担任の先生からの促しで部活をつくりました。初めての練習試合ではボコボコに負け、悔しさともっとうまくなりたいという思いからどハマりしました。基本的にオフェンス有利な競技ですが攻撃をブロックできたときはすごく気持ちがいいです。競技人口が少ないので機会があれば是非やっていただければと思います。



看護と野球、 ともに充実

現在、急性期混合病棟で、主に呼吸器・消化器内科の患者さんのケアにあたっています。職場はアットホームな雰囲気、先輩方はアドバイスの確で、いつも助けてくれます。私もそのような先輩になり、患者さんからも『あなただったら』と頼ってもらえるような看護師になることを目指しています。

野球は、幼少時に父親の草野球について行ったのをきっかけに興味を持ち、小学校高学年からはどっぷりと打ち込むようになりました。当時、プロ野球の藤川球児投手が活躍され、彼の投げるストレートを自分も投げてみたいと思っていました。高校3年生の夏、部員が120名ほどの学校でしたが、怪我でメンバーには入れず、応援団長をさせていただきました。大阪桐蔭に負けてベスト16でしたが、その時の悔しさも応援団長としての役割も自分を成長させてくれた大きな経験でした。



Interview 03

N・K
4年目看護師
所属…若草第一病院



働く先輩職員の / Interview

若弘会で働く若手職員をご紹介します。
ワークライフバランスをもって働く職員ばかりです！

Interview 02

N・T
3年目看護師
所属…若草第一病院



好きな剣道を続けながら、 人としても成長したい

私は、「ありのままを受け止め、心に寄り添う看護ができる」という看護部目標に惹かれ入職しました。入職後、ようやく優先順位を考えた行動ができるようになり、患者さんの少しの変化にも気づけるようになりました。病棟は、職員同士が助け合い、雰囲気が良く働きやすいです。患者さんに寄り添い、声かけが丁寧で、仕事を確実にできる先輩が近くにいるので、その方を目標に頑張っています。

剣道は、中学の時にはじめ、団体戦で県大会に出場しました。高校では、中学のときよりも悔しい思いを数多くしましたが、その思いを糧に日々練習し、試合に勝つための研究もしました。剣道には面白さや奥深さだけでなく、いろんな人と関わるといった魅力もあります。今後も剣道と看護を続けながら、人としての成長を目指していきます。



チアダンスでリフレッシュ、 同僚との関係も良好

私は幼い頃に入院した経験があり、その時に心の支えになってくれたのが看護師でした。そのお陰でリハビリを継続でき、今でも元気に過ごせています。私は、患者さんに寄り添い個性を尊重したケアができる看護師になりたいと思い、わかさ竜間リハビリテーション病院に入職しました。病棟は気軽に相談できる雰囲気、先輩や同僚との関係性も良く働きやすい職場です。私は患者さんに「ありがとう」と言っていたときにやりがいを感じます。エビデンスに基づいた看護を身に付け、個別性を重視した看護を目指しています。趣味は高校性のときから続けているチアダンスです。全国大会やJAPAN CUPで優勝するような強化クラブで選抜メンバーに入れず悔しい思いもしてきました。しかし、課題を明確にして練習に打ち込み、念願の選抜メンバーに選ばれることができました。今でも同期や後輩とスタジオを借りて踊っています。



Interview 04

A・S
1年目看護師
所属…わかさ竜間リハビリテーション病院



看護師たちのホンネ？！

新人&2年目ナースの 座談会

～本音で語る、若弘会の教育体制と人間関係～

わかさ老人訪問
看護ステーション
小阪サテライト
1年目

T・N(訪)

若草第一病院
1年目

S・U

わかさ竜間
リハビリテーション病院
2年目

T・N(竜)

TALK ABOUT?

「本音で語る、若弘会の教育体制と人間関係」

●入職を志望した理由は？

S・U 僕は、もともと実習でこの病院に来させてもらっていたので、病院や病棟の雰囲気が良かったのもありますし、看護師さんの学生や患者さんへの対応が良かったのでこの病院を選びました。

T・N(竜) 私も実習先がわかさ竜間リハビリテーション病院だったんですが、回復期病棟で色々学べたので、「この病院で働きたい」と思ってこの職場を選びました。

T・N(訪) 私は、卒業後すぐに訪問看護師になりたかったので、インターネットで教育体制が整っている訪問看護ステーションを探して、若弘会のホームページを見つけました。そしてステーションを見学した時に、看護師さんたちの雰囲気が良かったのと、訪問看護について丁寧に説明してもらえたので「ここで働きたい」と思いました。

●入職してよかったと思うことは？

S・U 教育体制が整っていることです。僕は今、呼吸器内科病棟で働いているんですけど、若草第一病院には新人の間にローテーション研修というのがあって、配置された病棟とは別の病棟へ研修に行くんです。先週、ICUと救急センターの方に行かせてもらったんですけど、そこで救急看護や呼吸器内科病棟では学べないこ

とをたくさん学ばせてもらって、すごく勉強になりました。また、病棟では、パートナースhip・ナースing・システムという看護体制で患者さんをケアしてるんですが、先輩看護師とペアで行動するので、分からないことはすぐに聞けるので安心です。また、パートナーとは人間関係が深められますし、プライベートな話もできるようになったので、そこがとても良いところだと思います。

T・N(竜) 私は、職場の働きやすさと教育体制が整っているところが良いと思っています。私は一年間、教育病棟で勤務し、色々教えていただきました。若弘会では、新人はアムナースという教育冊子に沿って、技術項目を習得していきますが、毎日実施したことをアムナースに記録をし、出来なかったことは先輩と一緒に振り



返りをします。仕事中はいつも先輩が「不安なことはない?」と聞いてくれますし、プライベートでも色んな相談に乗ってくれて、何でも話しやすいです。病棟の雰囲気が明るいところも良いところだと思います。

T・N(訪) 私も教育体制がしっかり整っているところです。私は一年目から訪問看護師を目指したので、やはり技術面での不安が大きかったんですけど、実際に先輩と同行訪問させて頂いて、先輩のケアを近くで見ることができましたし、その後もすぐに一人で訪問するのではなくて、何回も同行してもらって不安がなくなってから一人での訪問になったので安心できました。また、定期的に若草第一病院に集まって、若草第一病院に入職した同期生と一緒に新人研修を受けられることもすごく良い体制だと思っています。



仕事のメリハリもあるので良いと思います。

T・N(訪) 私も、いつでも何でも聞きやすい環境ですし、「どんなことでも聞いていいよ」と言ってもらえるので、本当にどんな小さなことでも教えてもらっています。先輩は常に気にかけて下さって、いつも会話があって、笑いが絶えないステーションなので関係性は良いと思います。

●看護のやりがいは？

T・N(訪) まだ、入職して間がないので訪問看護のやりがいということまでは良く分からないんですけど、先輩と同行訪問させていただいて利用者さんと関わる中で覚えることもいっぱいあるんですけど、日々充実していると思っています。

S・U 僕も、先輩に注意されることもあります。勉強して成長できて先輩に褒めてもらえたときはすごく嬉しいです。終末期の患者さんのご家族からお礼の言葉をいただいたときは、看護師を

●怖い先輩はいる? 人間関係はどう?

T・N(竜) 怖い先輩というよりも、きちんと指導してくれる先輩が多くて、私が出来ていないことに対しては、「こういう風にやるといいよ」と教えてくれます。分からなかったことも聞きやすいですし、先輩方はよく声をかけてくれるので、困ることはないです。プライベートの話も出来ますし、笑顔が多い職場だと思います。私が勤務している教育病棟は、若い世代の看護師が多くて、年も近いので、気軽に話せるところも良いです。

S・U 僕の病棟は毎日忙しいので、正直に言うと失敗したときに注意されることはありますが、理不尽なことはないので納得できます。怖い先輩はいないです。いつも笑顔で「患者さんはどう?」と聞いてくれ、気にかけてくれるので働きやすいです。プライベートと

していて良かったなあと思いました。

T・N(竜) 患者さんから「ありがとう」の言葉や、歩けなかった方が退院できるまでお元氣になられたときはすごく嬉しくて、看護師で良かったと思います。

●今後の目標は?

S・U 正直、毎日覚えることがたくさんあって目標と言えるかは良く分かりませんが、はやく看護師として自立したいと思っています。

T・N(竜) 私も同じです。今までは教えてもらう側だったので、今後は後輩に色々教えてあげられるような看護師になりたいです。

T・N(訪) 私も訪問看護師として、自立できればと思っています。毎日、いろいろ覚えることが多くて大変ですが、まずはそこから頑張っていきたいと思っています。

福利厚生



子育て

24時間対応(病児保育あり)の院内保育所を完備。年間の行事も充実、安心して仕事に取り組める環境です。



職員食堂

1食300円で栄養バランスのとれた、おいしい食事を提供。メニューも充実。特に日替わり定食が人気です。



看護師寮

1Kで、寮費は12,000円/月(水道代込)。近くに商店街があり、買い物も便利。なんばへも約20分の快速アクセス。



親睦会活動

職員の交流を目的とした親睦会を開催。テーマパーク訪問や豪華レストランでの食会など、楽しいイベントを実施。